

個別事業(取組)評価			
事業No.	49	施策の柱への位置付け	柱⑩ 高校教育の推進
事業名称	就職支援対策事業	担当課	高等学校課
		当初予算額(千円)	73,445
		補正後予算額(千円)	-
		決算額(千円)	59,399

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 各事業所からの情報から、昨年度よりさらに厳しい就職状況となり、ますます競争が激化することが予測される。 ◆ 就職を希望する生徒の就職に対する現状把握や意識改革が必要である。 【要因】 ◆ 世界的な経済不況や東日本大震災による影響が大きい。 ◆ 求人数減少による事業所の採用基準の見直しが進んでいる。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ◆ 高知労働局データにより、県外求人、特に製造業の求人数が減少していることが分かった。 ◆ 県内外の就職アドバイザーの事業所訪問、各機関と共に実施する県内外の求人要請、求人事業所説明会等で集めた情報や、学校からの現状報告に基づき、現状を把握した。
		イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 倍率の増加とともに、3次試験まで課す企業や筆記試験を重視する企業が増えている。	
②	目標(Outcome)	◆ 厳しい就職状況の中、就職を希望する生徒の夢や希望を実現するための支援として、次の3つを目標とする。 ① コミュニケーション能力や将来設計能力、基礎学力の向上などのスキルを向上し、自己実現ができる生徒の育成を図る。 ② 進学希望の生徒の保護者を含めて全保護者を対象とする進路講演を中心に、保護者の進路意識を啓発し、学校と家庭が一体となった生徒への就職支援を図る。 ③ 知事部局や労働関係機関、学校・就職アドバイザーなどと連携を密に図り、求人確保に努め、就職内定率の向上を図る。(平成22年度:92.6%→前年度の内定率を維持する)	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 東日本大震災や円高の影響で昨年度以上に厳しい就職状況が予想されたが、生徒の進路実現のため、昨年度の高い内定率を維持できるよう目標を設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ① スキルアップ講習会を各校で実施し、ビジネスマナーや就職試験対策などのスキルの向上が図られた。 ② 保護者への進路啓発講演を12校で実施し、昨年度を上回る352名の保護者に進路啓発ができた。(H22年度:9校、269名参加) ③ 平成23年度の就職内定率(3月末)は93.8%となり、厳しい状況の中で昨年度実績をさらに上回る結果となった。(H22年度より1.2%増)
		【検証(比較)方法】 ◆ 生徒の希望職種調査(8月末時点の不足職種調査) ◆ 就職内定率(9月～3月末、月別就職状況調査) ◆ 未内定者動向調査(10月～3月末)	・ 進路主事会やアドバイザー会、就職対策連絡協議会、就職支援チーム会の実施、また求人事業所説明会といった生徒対象や教員対象の事業で各機関と連携し、就職内定率の向上につながった。 ・ 生徒の希望職種調査や高知労働局の求人情報を基に、求人数の絶対数不足や不足している職種について、県内各経済団体に3回の求人の要請を実施
③	実施内容(Input・Output)	① 就職アドバイザーの配置 ・ 企業訪問による求人開拓・面接指導などを実施し、教職員と共に就職支援を行う。(9名18校) ・ 大阪・名古屋に就職アドバイザーを配置し、県外の求人開拓の強化を図る。(各1名) ・ 高等学校課にも就職アドバイザーを配置し、一次産業や介護・福祉分野の就職支援を強化する。(2名) ② 教職員・就職アドバイザー等による企業訪問 ・ 求人開拓を行い、生徒の希望実現に向けて企業訪問を実施する。(通年) ③ 高校生スキルアップ講習会 ・ ビジネスマナー講座:ビジネスマナーに関する講習会を実施することにより、高校生のスキルアップを図り、就職活動を支援する。(県立学校25校 7月～9月) ・ 就職試験対策講座:筆記試験対策により、内定率の向上を図る。(県立学校15校 7月～8月) ④ 保護者対象進路啓発事業 ・ 保護者への進路啓発講演等を通じて、家庭・学校の連携のもとに就職支援を行う。(周年) ⑤ インターンシップ推進事業・農林業体験インターンシップ事業 ・ 生徒の職業観・勤労観の向上を図り、キャリア発達を支援する。(通年) ⑥ 高校生就職フォローアップ講習会 ・ 未内定生徒等を対象にビジネススキル等の向上を図る。(10月～ 各県立高等学校)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ① 就職アドバイザーの配置 ・ 各校就職アドバイザーの配置(18校へ9名を配置) ・ 県外就職アドバイザーの配置(大阪1名、名古屋1名) ・ 高等学校課就職アドバイザーの配置(2名) ② 教員の企業訪問数延べ1,259社(県内449社 県外810社)への訪問(H22末1,261社 県内464社 県外797社) ③ 高校生スキルアップ講習会に生徒1,429名参加(H22末:712名) ・ 就職試験対策講座456名(15校)参加 ・ ビジネスマナー講座973名(24校)参加 ④ 保護者対象進路啓発事業に、保護者352名(12校)参加(H22末:269名) ⑤ インターンシップ推進事業・農林業体験インターンシップ事業 ・ インターンシップ推進事業に、生徒1,651名(21校)参加(H22末:1,749名、20校) ・ 農林業体験インターンシップ事業に、生徒446名(11校)参加(H22末:271名、11校) ⑥ 高校生就職フォローアップ講習会に、524名(7校)参加(H22末:788名、7校、H23年度はスキルアップ事業に一部移行)

総合評価と今後の方向	目標達成度 A 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 ◆ 様々な就職支援により内定率の向上につながってきたが、生徒の希望する進路の実現に向けては、早い段階から継続した取組が不可欠であることから、今後は高知のキャリア教育の指針に基づき、全体計画の中でスキルアップ事業やインターンシップ事業などの取組を、より系統的・計画的に進めていく。 ◆ 厳しい雇用情勢は今後も続くことが予想されるため、各学校の教員や就職アドバイザー、関係機関との連携をさらに強化し、企業訪問等による求人確保に努める必要がある。
	【総合評価】 年度当初から、本年度も大変厳しい求人状況が予測されていたことから、関係機関と連携を密にし、従来の事業をできる限り前倒して早期から取組を進めた。その結果、各事業における実施校、参加生徒数等は平成22年度の実績を上回る結果となり、3月末の就職内定率は、厳しい状況の中でも昨年度を1.2%上回る93.8%となった。	